

ルイストン市がティントリのストレージを採用

ティントリがすべてのアプリケーションレイテンシーを解消。ルイストン市の主要な公共サービスに関わるストレージ管理を簡素化。

ルイストン市

ルイストンは、米国アイダホ州の北部地域、ネズパース郡に位置する 2 番目に大きい都市で、2013 年に行われた米国の国勢調査によると、人口は約 32,400 人。エリック・スコット氏は、ルイストン市役所で情報システムマネジャーを務めています。

スコット氏は言います。「市役所の IT 部の職員は、私を含めて 5 人。私と、ネットワーク管理者が一人、システム管理者が一人、全エンドユーザー対象に PC サポートを行う IP ヘルプデスク要員が二人です。我々は市役所内の様々な部署における、すべての金融サービス、公共料金請求、システムの購入などに関連する IT インフラを、一手に引き受けて多忙な日々を送っています。ルイストン市役所では、Dell サーバー、年季の入った EMC SAN と、ディザスタリカバリ用としてお互いにコロケートやレプリケートされた Dell EqualLogic TS4100 アレイ 2 台を使って、2 つのデータセンターでデータを運用しています。

IT 問題

ルイストン市役所の IT チームは、Dell のストレージシステムは交換時だと考えていました。「ERP ソリューションやエンジニアリングサーバーの、極めて高いレイテンシーに悩んでいたのです。当時、常態化した問題はすでに危険なレベルにまで達していました。すべてのシステムコンポーネントに関し徹底した分析を行い、ネットワークスイッチの問題と解決可能な問題をいくつか発見しました。これらは些細な問題。最も深刻な問題がストレージインフラにあることは明白でした。使用していた SAN では、市役所のアプリケーションやサービスに期待されているパフォーマンスレベルに達することができませんでした。」と、スコット氏は強調しました。

新しいストレージソリューションを探し求めて

スコット氏と彼の同僚でシステム運用者であるダニー・サンティアゴ氏は、市役所の有機的なレイテンシー問題を解決するために、ストレージ問題へのより効果的な解決法を探し始めました。更に、スコット氏は言います。「我々は産業貿易展で初めてティントリアレイを見ました。当時はサポートが終了した EMC SAN を使っていたので、どうしたら良いかを EMC に問い合わせたり、その他にも Nimble 製品を検討したり、他のベンダーのウェビナーを覗き、合計で 5、6 種類のストレージソリューションを検討していました。その後、私は VM ワールドのティントリシティセミナーに参加したのですが、目の前で起こっていることにとても興奮してしまいました。製品推薦のコメントを確認して、早速ティントリ製品を試してみようという結論に達し、今その決断にとっても満足しています！」



Industry

- 行政

ロケーション

- 米国アイダホ州ルイストン市

Website

- <http://cityoflewiston.org/>

仮想環境

- VMware® vSphere™
- 以前のストレージ環境: Dell EqualLogic TS 4100s, EMC SAN

ゲスト OS のプロファイル

- Microsoft SQL、MunisERP ソリューション、ファイルシェア、AutoCAD ソフトウェア、VMware VDI

主な課題

- 従来のストレージシステムの、不十分なパフォーマンスが、市の主要な ERP やエンジニアリングアプリケーション上で、高いレイテンシーを起こしていた。

ティントリのソリューション

- Tintri VMstore™ T540 アレイ

主な用途

- ティントリ社製品は、現在市のアプリケーションやサービス作業の 90% で使われています。

ビジネス上のメリット

- 400 ミリ秒のレイテンシーをナノ秒レベルまで改善
- 新しいアレイで、わずか 5 分のスピーディな配置を実現
- ストレージ管理の簡素化
- 容易なスケーラビリティを実現

ティントリを選択

「実は、他社を含めて候補に挙げたときは、各社それほど差はありませんでした。最終的に私の背中を押したのは、ティントリ製品がVMwareの仮想環境と高い互換性を持っていたということでした。ティントリ製品は単なるストレージユニットにとどまらず、どんな仮想マシンに対応しているのか、仮想マシンがどんな風に作業を行っているのかを、本当の意味で理解していました。情報がつぶさに可視化されており、実行上のいかなる問題も即座に診断することができます。ティントリのストレージを使えば、問題がネットワークのレイテンシーなのか、OSのレイテンシーなのか、あるいは直感的なコンソールの一つからストレージレイテンシーが起こるのか、判断することが可能です。他社製品はこうはいきませんでした」と、サンティアゴ氏は話してくれました。

スコット氏が続けます。「本当にダニーの言う通りですよ。ティントリ製品は我々のインフラの非常に深いレベルの分析まで明らかにしてくれます。以前はレイテンシーがどこで起きているのかを理解するのは、骨の折れる作業でした。レイテンシーの起こる場所を探して、vSphere環境の状態を見るために複数のコンソールを調べなければならず、ホストや番号をすべて調べ上げ、数多くのツールを使わねばなりません。ティントリ製品では、知りたい情報がたちどころに分かるし、しかもとても見やすいのです。ティントリユニットでは、30日間お試し期間がありましたが、1週間もたたないうちに期待以上であると証明されました。

ティントリを配置

ルイストン市役所は、2014年に初めてTintri T620を購入しました。「ディザスタリカバリのために、是非もう一台購入したいと思いましたが、IT予算を申請するまでもう少し待たなければなりません。今はMS SQL、読み書きに集約されたERPソリューション、ファイルシェア、そしてエンジニアリングヴィエムをティントリで稼働させています。間もなくMSエクステンジ環境とVDIデスクトップを移動させます。移動を完了させたら、サーバーの90%がティントリ製品で作動するようになります」と、サンティアゴ氏が説明してくれました。

ティントリの配置は非常に速く簡単だったとサンティアゴ氏は言います。「ティントリ製品ユニットをセットアップする時間より、棚に設置する時間のほうが長かかりましたよ。インストールさえ終わってしまえば、起動して作動が始まるまで5分かかりませんでした。」

運用が簡単

サンティアゴ氏は「ティントリ製品ユニットは、運用がとても簡単です。設置した最初の週は、毎朝ティントリ管理コンソールにログインして、ウェブインターフェイス上でティントリ製品がどのように作動しているのかを何時間も見ていました。でも2週目の終わり以降は、全くログインしていません。ティントリが全く申し分なく管理してくれるので、ストレージについて心配することは何もないのです」と、言います。

サンティアゴ氏の言葉を補うようにスコット氏が続けます。「以前ストレージ環境を管理するのに、ダニーは丸々一日潰し、レイテンシーを低く抑えるためにあちこち操作し続けていました。でも、もうその必要はありません。彼は今、もっと重要で興味のあることに集中できるようになりました。イライラしている顔つきで出勤し、全ストレージ問題について一日中悩んでいましたが、ティントリをインストールして以来、ダニーは笑顔を浮かべオフィスを歩いていますよ！」

抱えている問題すべてを、こんなにも簡単に解決してくれる技術ソリューションに出会ったら、それを他の人に話すのは当然の義務でしょう。素晴らしい伝言ゲームに加われて、とても楽しいです。

エリック・スコット氏
情報システムマネジャー、
アイダホ州ルイストン市

すべてのアプリケーションレイテンシーを解決

「我々の ERP サーバーのディスクレイテンシーは、平均で 15ms (ミリセカンド) を超える程度で、時には 400ms に急上昇することもありました。これはエンドユーザーレベルにとってはかなり大きな数字で、我々のアプリケーションでは許容できないレベルです。ティントリボックスを使うと、ラグタイムはナノセカンド単位。レイテンシーは我々とは『無関係』になりました。今、アプリケーションにレイテンシーが発生する場合は、それはストレージが原因ではありません。Windows の OS や、その OS が動かしている作業に起こっているのです」

嬉しい自動サポート

「ティントリの作動を開始したその週に、我々のデータセンターで送電異常がありました。ティントリボックスは、予備電力の一つが電気を送らなくなったことを感知して、数ミリセカンド後に自動的にサポートチケットを開きました。次の日出社したときには、我々のデータセンターにバックアップの電力供給が始まっていたのですが、我々がこれらの作業に何一つ関わる必要はありませんでした。ティントリのファームウェアには、内蔵されたモニターがあり、ユニットを継続的に監督してくれたからです。皆、この迅速な自動サポートチケットと、問題へのスピーディな反応に感銘を受けました」と、スコット氏がその時の状況を話してくれました。

Summary 結論

「我々が POC 作業の準備をしていた時、ティントリの販売員に、うまく作動しなかったら製品を送り返してもいいかと、聞いてみたんです。すると彼は、可能かどうか確かめてみるが、今まで誰も送り返してきたことがない、と言ったのです！彼の言葉を疑っていました。常に問題なく作動している夢の IT 製品なんてないと考えていたからです。でも、我々は間違っていました。ティントリ製品は、約束したことは必ずやり遂げてくれます。導入した日以来、一度も問題が起きたことはありません」と、サンティアゴ氏は言いました。

スコット氏は、ティントリ製品の推薦者になって欲しいという頼みを、いつも快く引き受けています。「IT 関係の仕事をしているという人物に会うと、私は必ずティントリのストレージの話をする。こんなにも簡単に、抱えている問題すべてを解決してくれる技術ソリューションに出会ったら、それを他の人に話すのは当然の義務でしょう。素晴らしい伝言ゲームに加わって、とても楽しいです。」



ティントリジャパン合同会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 2-2-1

岸本ビルディング 6 階

03-6213-5400

info.japan@tintri.com

www.tintri.co.jp